

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

## こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



作業風景 (セルフ・みらい)

特集  
こぶしの会

一年間をふりかえって

No.298



合併号

### ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ セルフ・みらいのページ..... 5 P
- ④ けやき作業所のページ..... 6～7 P
- ⑤ 第2 けやき作業所のページ..... 8 P
- ⑥ 県東ライフサポートセンターのページ..... 9 P

# いざしの会 一年間をふりかえって

平成一七年度は本当にいろいろなことがありました。

きょうされん全国大会の栃木県開催、障害者自立支援法成立…

今号の特集は各事業所で一年を振り返ってもらいました。

## こぶし作業所

平成一七年度は、二名の新しい利用者を迎え、一名の退所者がありました。やめられた方については、ご満足いただける支援ができなかったことを今後の課題としてまいります。さて、今年度の特徴は、利用者自治会

の活動が充実したことでした。

自治会選挙、キャンプ、一泊旅行、感謝のつどい等々、自分たちで企画し、丁寧に準備し、取り組みを積み重ねました。こぶしの利用者は、やっぱりスゴイ。

## けやき作業所

この一年間を振り返ってみると、とにかく慌しい一年間でありました。(毎年かもしれないが)きょうされん全国大会の開催、さらに自立支援法の到来。しかし、同時に新しい年度を迎える今、利用者の方々も職員

もみな元気。みなで新年度を迎えられることで、安堵感を覚えることができることも事実です。忙しくても大変でも、常に笑顔で前向きに、けやき作業所は取り組んでこられたと思えます。一人ひとりの笑顔と明るい声が来年度もけやき作業所の光となつて輝き続けることでしょう。

## 第2けやき作業所

第2けやき作業所は平成一六年度四月一日を持って、三年九ヶ月の厳しい運営を経て認可された。平成一二年芳賀町のご好

意で無償貸与されてから、精神障害者小規模共同作業所として開所した。県内三番目の精神の授産施設が芳賀県東域にできたことは関係者が待ち望んでいたことであつた。

精神障害者の地域生活移行が遅々として進まない状況の中、今年度は利用される方が大きく増え地域福祉の拠点としての役割も果たしつつある。また、作業所の事業内容は下請作業、給食業務、弁当事業営業(弁当配達部)とあるが、作業開拓と高工賃保障には更に力を入れていく課題である。そんな厳しい一面もある中で、第2けやき作業所職員二名をジョブコーチとし



1 特集

て派遣し、一般企業への就職活動の支援はもとより地域企業への就職活動の促進に力をいれてきた。地域産業と共同できる事業を確立することと企業内授産の推進の検討も急務である。

この県東地区に生まれた貴重な社会資源を拠点として、また精神障害者の地域生活を拡大するために、より一層次年度は(自立支援法事業移行)力を結集して、一步一步すすめていきたい。

### 県東ライフサポートセンター

こぶしの会第二期中・長期計画の提言を受け、平成一七年事業計画では重点計画として

- ① 関係機関連絡調整体制の整備
- ② 相談支援体制の充実
- ③ 日中・余暇活動支援の充実
- ④ 障害のある人々の地域生活の最適化とそれを支えるシステムの構築

⑤ グランドデザインの学習と対応の五点を掲げスタートしました。新制度の中身が不透明

なままでの業務となりましたが、利用者を中心とした関わりの中で、「精神保健福祉」の専門性を意識しながら日々、「地域での暮らし」をサポートしてきました、がまだまだ多くの課題を残しています。平成一八年四月からの障害者自立支援法施行を機に尚一層、障害者福祉の向上に努めていきたいと思えます。

### セルフ・みらい

平成一七年度のセルフ・みらいをふり返ってみると、利用者、保護者、職員の結びつきがより、強くなった一年でした。きょうされん全国大会の取り組みでは、成功のために利用者も職員も、持てる力を出し切りました。地域生活では、グループホーム「ぼてっと」を開設し、四人の

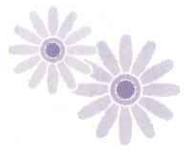
利用者が新しい暮らしをスタートしました。働く取り組みとして、利用者の一般就労や工賃アップも実現する事ができました。みらいフェスタなどの後援会活動に力を入れることにより、セルフ・みらいの発展と、地域の方々と交流を深めることができました。また日中の活動を中心とした取り組みを基本とし国会請願署名活動や物資販売を通して障害者福祉分野をより多くの方々に知ってもらう機会が増えました。こういった様々な取り組みが、はじめの一步となり実を結んでいくことで、次に繋がっていくことを再確認することができたと思えます。平成一八年度はセルフ・みらいにとって五周年というひとつの節目となります。新年度もまた、地域に根付いた事業を展開していきたいと思えます。新年度もご指導・ご支援の程、よろしくお願い致します。







## こぶし作業所ニュース



### 感謝祭開催!!!

2月5日(日)になかま自治会主催のこぶし作業所感謝祭を開きました。今年一年、お世話になったみなさん(保護者、ボランティアの方々)を招いての行事です。

感謝祭を開くにあたり、まず各作業班から代表者を選び、実行委員会を立ち上げました。第1回目から、日頃の感謝の気持ちをいったいどのような形で表わしたらいいのか、準備期間が1ヶ月間という短い中でどこまで完成された企画ができるのかなど、とても不安が大きい中で始まりました。話し合いを重ねるごとに徐々に計画も決まり、何か目に見えるもので感謝の気



持ちを伝えたいということで、自分たちで料理を作り、食べてもらうことにしました。事前に保護者、ボランティアのみなさんに手作りの招待状を配布し、呼びかけを行い、たくさんの方々に参加していただくことができました。

当日は風もなく、晴天の中で行うことができました。室内の飾り付けや火おこし、調理などに分かれ、なかま全員で準備に取り組みました。キッチンセルフ班がサンドイッチ、アクセサリ班と成本班でカレーライス、クッキー班とベアリング班で豚汁を作りました。また、喫茶部や衛生部からのコーヒー、お茶の販売もありました。60名分の品物を作るということで、

分量が分からずに困りましたが、参加者からは「おいしかった」という声がたくさんあり、とても嬉しく思いながら、大成功で終わることができました。

最後の実行委員会の中では、「スケジュールが大変だった」、「味は良かったが、火おこしがなかなかできなかった」、「また、来年もこんな感じでやりたい」などの意見が出されました。昨年はオカリナコンサート、今年は感謝祭と続き、来年度も自分たちで計画をして、みなさんをお呼べるような企画を考えていきたいと思ひます。



## こぶし作業所建設プロジェクトスタート

こぶし作業所建設プロジェクトは、こぶし作業所の老朽化に伴う危険回避並びに地域福祉と法人事業の中核となる施設整備の内容について検討するというを目的として設置されました。

当プロジェクトは、法人理事・評議員・利用者代表・家族代表・学識経験者・施設職員から構成され、本年秋頃を目途に答申をまとめていく予定です。

今後は、どのような施設づくりを目指していくのかを意識しながら、先進的な取り組みをしている施設などへの視察も行い具体的な内容を検討していきます。

こぶし作業所の将来像を考えるとわくわくしますよ。ぜひみなさんも、当プロジェクトへご意見がございましたらお届けください。



# みらいニュース



## 今年度も残りわずかですが

1月28日、保護者会主催による親睦を深めるための食事会が行われました。大勢の保護者の方、仲間、職員が集い、様々な意見交換の場となりました。参加された保護者の方、利用者の感想です。

### <保護者の方の感想>

- 親睦会に息子と参加しました。総勢40名近い参加者には驚きました。行事があっても、なかなか集まらない現状なのに保護者の方の顔を見られたことを嬉しく思います。料理はとても上品で、おいしくいただきました。息子は職員さんと仲間的那花さんの介助で楽しく食べることができました。偶然ですが父親もこの店で食事をしていました。今後の保護者会行事等にも、たくさんのお父さん、お母さんの顔が見られることを楽しみにしています。 役員の皆さん、お世話になりました。…………… 笹沼 君江
- 食事会では大勢の方々が集まり、大変楽しかったです。セルフ・みらいの皆さんは、みんな楽しく元気に自己紹介をしたり、おいしい料理を食べたり飲んだりして、楽しい食事会でした。今年もいきいきと楽しく元気に過ごせるよう頑張りましょう。…………… 大塚 林平

### <利用者の感想>

- まわりの保護者の方と話ができてよかった。…………… 金子 峻
- 保護者の人と普段話すことができないので、いい機会ができた。…………… 那花 峰子
- 食事がおいしかった。弁当作りに生かせればよいと思う。…………… 並木 賢二

## ゴ ミ 拾 い

1月下旬に、下請班では奉仕活動の一環として、みらいの近くの道路のゴミ拾いを行いました。

ただの散歩では気付かない道端の「ごみ」。タバコの吸殻、空き缶、紙くず、皆で次々に拾っていきます。亀山小学校の近く、建設中の道路の下、そしてみらいの近く。普段なかなか気がつかないところにごみは潜んでいるのです。

利用者のなかでは、職員とおしゃべりしながらゴミを拾う人、普段運動とは縁がなく、始めは皆と参加できなかったのに皆が出発した後に「行きたい！」と後から仲間入りした人、ゴミ拾いよりも外の空気の気持ちよさを楽しんでいた人、それぞれに普段とは違う「仕事」を味わい、これまでのお礼と、これからもよろしく！の願いを込めた2日間でした。未永いお付き合いをよろしくお願いします。



## 福 は 内 鬼 は 外

2月3日は節分の日。豆まきは年男、あるいは一家の主人が「福は内、鬼は外」といいながら煎った大豆をまき、みんな自分の年の数だけ豆を食べると、これから1年、病気になるいと言われていいます。セルフ・みらいの仲間・職員が1年間、健康であることを願い、豆まきを行いました。鬼役となった仲間2人にめがけて「福は内～鬼は外～!!」と大きな声を出しながら豆を投げつけます。鬼役をやった仲間の感想を聞いてみると、ただ一言、「疲れた～」でした。





# けやき作業所

## 各事業所

### 新入所者の一年間

今年度最後のこぶしだよりということで、けやき作業所各事業所の総括と、今年度四月より入所された利用者の方々の一年間の振り返りを掲載することにしました。それでは、各事業所の声をお聞きください。

### 平成一七年度 デイサービスを振り返って

けやき作業所デイサービスの今年一年間を振り返ってみると激動の二年間といえる気がします。今まであったカセット作業が打ち切られ、仲間たちに対して何をやらたらよいか試行錯誤しながら日々を過ごしました。仲間たちも今までと違ったことをやる戸惑いと不安で落ち着かなくなることも多くありました。その落ち着かない状況での職員の内

入れ替わりがさらに仲間に負担がかかってしまったのではないかとお考えます。そんな状況でも乗り越え、年度も終わりがけの今、みんなも落ち着きを取り戻し、デイサービスとして形になったような気がします。これからもデイサービスセンターでがんばる仲間たちの応援をよろしくお願ひします。

### 吉成洋平君の一年間



四月に元気に入ってきた洋平君もけやき作業所で一年間過ごしたことで、だいぶ環境にもな

れ、色々変わったこともありました。最初は、作業や仲間のこともよくわからずに戸惑っていたことが多かったのですが、今ではほかの仲間にも遠慮することなく自分の欲求をぶつけてくるようになりました。その欲求に対して仲間の方も応えるこ

とができるようになり、洋平君の愛らしさに甘やかしてしまうことも多くなつてしまいました。まだまだ育ち盛りの洋平君は、心も体も大きく成長して元気に毎日を過ごしています。

### 平成一七年度 パン班を振り返って

平成一七年度は下請け作業の減少に伴って、主に下請け作業をやっていた利用者がパン作業

の一部分(袋詰め・営業販売)をやることになり、二五名の利用者を抱える大所帯となりました。これによって作業の分業化がある程度進んだ反面、下請け作業がない時の営業人数の多さ、人件費の増大、生産数の頭打ち等問題点が次々と現れた一年でした。来年度はいよいよ自立支援法が施行されます。パン班としては雇用型・非雇用型問わず作業環境の向上・新作パン発表等、利用者それぞれの能力に応じた作業が提供できるパン班を目指していきたいと思ひます。これか

らもここにこパン屋さんをこ愛顧の程よろしくお願ひいたします。

### パン班新任所員より

けやき作業所にここにこパン屋さんに新任された仲間が一年間を振り返ってもらいました。

一、仕事をしてどんなところが良かったですか?どんなところが大変ですか??

石原 色々なパンを作ったり、作ったパンが売れたりしてよかったです。売れるようにもっと上手に作れるようにしたいです。

大賀 自分の作ったパンが売れるのがおもしろい。忙しいです。

水沼 たくさんのパンが作れるようになったこと。忙しい...

大塚 給料がもらえるところがいい。いろんなところに販売がおもしろい。



二、これからどんなことを目標にしていきたいですか？

石原

身の周りの生活のことや早番の仕事を頑張りたいです。もっとコミユニケーションをとって頑張っていきたいです。

大賀

給料が増えるようにがんばる。早番の仕事を覚えたいです。

水沼

たくさんさんのパン成型や仕込みの仕事を覚えて給料が増えるようにする。休まず働くこと。

大塚

忙しい中、ありがとうございました。



### 二つに二つ弁当の1年間

今年のにこにこ弁当は前任者の退職に伴い新しい職員体制でスタートしました。最初はお互いに慣れずに固い雰囲気になってしまいましたが、仲良くなるために「あいさつをしよう」をキャッチフレーズにしました。あいさつが功を奏してきて徐々に仲良くなり冗談を言い合えるようになってきたり、時にはお互いに意見を言えるようになり明るい雰囲気になりました。お弁当の数も増えてきて、毎日一〇〇食程の注文が入るようになり、臨時の注文が入ると一五〇食を超える日もあります。これからも地域から愛されるお弁当をめざしてがんばります。

### 富田望美さん

去年の四月に益子養護学校を卒業してけやき作業所に通うようになりました。学生実習を弁当班で行ったので慣れている弁当班に配属されました。

最初は仕事に疲れてしまったりも起きないこともありましたが、食堂の清掃を担当してもらいました。最初は先輩から教わりながら掃除をしていました。同時に責任感もできてきた。同時に掃除が上手になりました。掃除は自分の仕事だという自覚や「掃除の他に何かやることありますか」ときいてくるほど積極的になりました。調理も野菜の皮むきから始まり、今は刻みもできるようになりました。

最後に本人の感想は「楽しかったです」と答えてくれました。



### 今月のトピックス

花フェスタでコロッケ、パン完売御礼

二月一八、一九日、鹿沼花木センターにて花フェスタが開催されました。

けやき作業所ニコニコ弁当、ニコニコパン屋さんからも、コロッケとパンの販売をさせていただきました。

二日間で、コロッケ約五百個、パン約六百個を販売し、両日完売でした。

協力していただいた地域の方々ありがとうございました。





## 障害者自立支援法を向かえて ～第2けやき作業所を 考えよう!～

# 第2けやき作業所

Dai2-Keyaki

## 第2けやき作業所メンバーからあげられた主な意見

- 仕事目的、居場所目的、状態の良い人悪い人様々だが、目的・状態に応じて区別する必要はない。目的や事情は人それぞれ違う、マイペースで良いのでは？
- 仕事をして休憩とか、日によって休むとかでは、一生懸命仕事している人のやる気が落ちる。
- どっちにしても仕事をしなくてはならない。友達作りの人に偏ると仕事が進まないで今の使い方ではよいと思う。けれど暇になったときに遊びにこられるのは嫌、最低限、休憩とおしゃべりは別にして欲しい。
- 目的と状態に応じて分けたほうが良いと思う。
- 作業所に来たらできるだけ努力して作業に取り組んで欲しい。
- 仕事の生産、納品に照準を合わせてやったほうが良い。
- 障害が違う場合について  
自分たち（精神障害）を見下ろすような人とはやりたくない。  
以前、知的の人と一緒に作業したときは、（精神障害の）自分らがスタッフになってしまっていた。どちらかという面倒見て、お世話して、教えてあげたりしていて、とても疲れたし大変だったし負担であった。本来自分たちが取り組みたい問題や課題、目的が達成できない。  
精神と知的障害者と、ごっちゃにして欲しくない。精神の辛さが分かってもらえないと思えず、傷つけられることもあると思う。
- 現在の作業所の雰囲気や皆との関係、場を脅かされるのは嫌。
- 現在のよな、精神障害者が安心していられる雰囲気の居場所のままでいて欲しい。安心していられる場所がなくなったら、来ないかもしれない。
- 作業訓練も必要、それと同じくらい人との関わり方の勉強も必要だと思う。その人の状態にあわせて偏りがあるかも知れない（作業中心→就職に向けてとか、居場所・友達作り中心とかが、この二つは切っても切れない問題になってくると思う。）そこに金銭的なものも絡むが、ある程度納得のいく賃金で人間関係がうまくいければ長続きができ、頑張ってやっていけるのでは？この三つがうまくバランスが取れてれば結果は良いということからの意見でもあります。
- これからも、今までのように、メンバーとスタッフが気軽に話ができる、そういう関係でいて欲しい。話がしたいとき話ができないようでは困る。また、メンバーとスタッフの関係が事務的になることも困る。
- 実際に動けるスタッフが、少ないと思う。もう1人くらい増やして、作業をしているときにスタッフが誰もいないという状況をなくして欲しい。
- 利用料を取られるのなら、給料をそれ以上の額（例えば、利用料に今までもらっていたぐらいの額を、上乗せした額）の給料が欲しい。
- できることなら作業所に就職して、その給料で十分生活していけるようにして欲しい。（それだけの給料が欲しい）



障害者自立支援法は特に就労に重きを置いています。第2けやき作業所も基本的には就労事業を目指していくこととなりますが、それには、メンバーとスタッフが力を合わせていけることが大切だと思います。利用者不在の作業所（事業）にならないよう、第2けやき作業所メンバー皆さんの声を反映しつつ、障害者自立支援法に基づいた作業所（事業）をつくっていけるのか、大きな課題だと思います。

## 第2けやき作業所平成17年度総括

第2けやき作業所は平成16年度4月1日を持って、3年9ヶ月の厳しい運営を経て認可された。平成12年芳賀町のご好意で無償貸与されてから、精神障害者小規模共同作業所として開所した。県内3番目の精神の授産施設が芳賀県東域にできたことは関係者が待ち望んでいたことであった。

精神障害者の地域生活移行が遅々として進まない状況の中、今年度は利用される方が大きく増え地域福祉の拠点としての役割も果たしつつある。また、作業所の事業内容は下請作業、給食業務、弁当事業営業（弁当配達部）とあるが、作業開拓と高工賃保障には更に力を入れていく課題である。そんな厳しい一面もある中で、第2けやき作業所職員1名をジョブコーチとして派遣し、一般企業への就職活動の支援はもとより地域企業への就職活動の促進に力を入れてきた。地域産業と共同できる事業を確立することと企業内授産の推進の検討も急務である。

この県東地区に生まれた貴重な社会資源を拠点として、また精神障害者の地域生活を拡大するために、より一層今年度は（自立支援法事業移行）力を結集して、一步一步進めていきたい。



# 県東ライフサポートセンター

e-mail elsc.13.10.1@guitar.ocn.ne.jp

特報第1弾! ~料理王の巻~

## “料理王” 速報

~11月から2月までに作った料理をまるごと紹介~

メニュー&かかった費用 (一人分)	
・ 赤飯、味噌汁、サラダ、梨、柿・・・	250円
・ ポトフ、ご飯	160円
・ 親子丼	180円
・ 鶏鍋	180円
・ 焼きそば、ご飯	150円
・ クリームシチュー、パン	190円
・ けんちんうどん	140円
・ お雑煮	120円
・ まぜご飯、スープ	260円
・ おでん	300円
・ うどん	210円
・ すいとん	160円
・ しょうが焼き	180円
・ チャーシューみそラーメン	220円

みんなで話し合っって作ったメニューです。これからもどんどん作っていきましょう! 料理が苦手な方も超大・大・大歓迎! 味・量・費用抜群だ~。それ~「ほっとCHA」で実施日確認だ~。

特報第2弾! ~毎年恒例! バス旅行の巻~

## SC&D2けやき合同旅行”開催!

~茨城県の大洗に行ってきました!~



2月26日(日) 小雨が降る中、サポートセンターと第2けやき作業所のメンバー・スタッフ・ボランティア総勢83名でけやき作業所のマイクロバス2台を借り、片道約2時間強かけて茨城県の大洗まで行ってきました。大洗水族館と温泉の2コースに分け、超ハードスケジュールでしたが皆それぞれの場所で楽しめたのではないのでしょうか? また、新鮮な海の幸はいかがでしたか? 最高の天気! とはいきませんでした。旅行はいつ行ってもいいものです。

### 17年度最終回ダ~! サポート

今年度は実に様々なことがありました。まずはSC新施設長の就任、続いて愛知万博、郭スタッフの出産、衆議院解散、耐震偽装問題、LD社長逮捕、トリノオリンピック、史上初! SC・第2合同旅行などなど...そして“障害者自立支援法”。...いろいろあったけど、とりあえず18年度も宜しくお願ひしま~す。(W)



SCの雪景色

今月のベストショット

### 一 サボセン日記 第9巻 一

私は犬の散歩をしています。家の近くを30分位散歩します。犬の名前はシロ♀、ブン太♂、ゴン太♂です。これも憎たらしいですが、楽しく散歩をしています。週一回サポートセンターでパソコンをやっています。難しい時もありますが、これからも続けていきます。好きな食べ物はシヨートケーキ、饅頭、餡です。(メンバーよい)

### 今回は真剣ダ! サポート

最近、「時間の大切さ」をしみじみ感じさせられます。日々無駄なく、有効に使うように意識してはいますが、なかなか上手くはいきません。結局はあまり考えていないのかも。止まることなく流れる「時」。大切に大事に使いたいものです。(W)

### 今月のベストショット



### 一 サボセン日記 第10巻 一

旅行の感想 (参加者よい物申す!)

- ・ 疲しかったけど、イルカのショーは良かった。
- ・ ジュース、お菓子が欲しかった。
- ・ イルカの立ち泳ぎが最高!
- ・ 温泉、昼食良かった。
- ・ 入場料のわりにはあまり良くなかった。(温泉)
- ・ 時間が短かった。
- ・ できれば一箇所記して欲しかった。
- ・ 最高、気分爽快!
- ・ アシカのショーが良かった。
- ・ ボランティアの人とたくさん話せた。 など……



僕たちのこと  
もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
028-687-1040

**こぶし作業所・後援会**  
**ボランティア大募集!**

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ (軽食喫茶店) の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています

お問い合わせ こぶし作業所  
☎028 (662) 1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとってよいところですよ!

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター

**セルフ・みらい**  
**ボランティアさん募集!!**

- 箱折り
- プールの手すり糸且み (※1-3火曜日AM中)

※詳しくは、セルフ・みらいまで...  
☎0285-81-1155

発行所 郵便番号 250-0053

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター TEL 028 (613) 5703  
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
TEL 028 (667) 5531
- く る み ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町2867-3  
TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
デイサービスセンター TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4  
TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp